

# 会 議 録

作成日 令和8年3月27日(金)

日	令和8年3月17日(火)	時間	15:00 ~16:40	場所	市役所2階 203・204 会議室
件名	(議題) 第3次糸魚川市生涯学習推進計画の令和7年度実施計画の最終報告について				
出席者	【出席委員】13人(敬称略) 相馬修、木嶋正和、井崎由紀子、小野敏明、清水博、高野秀樹、小田嶋大、 田邊和子、藤田衛、西典子、松本香織、矢島好美、清水友樹				
	【事務局(生涯学習課)】9人 川合課長、本間課長補佐、須澤係長、山岸係長、伊藤主査、 作本主査、小田嶋主査、大西主査、関澤主事				
	傍聴者定員		5人	傍聴者数	0人

## 会議要旨

全体進行：事務局と委員長

### 1 開 会 (15:00)

### 2 あいさつ

### 2 協 議

#### (1) 第3次生涯学習推進計画 令和7年度実施計画の最終報告について

事務局から委員へ実施事業について報告し、その後質疑応答

#### ① 家庭教育事業

##### ○「おとうさんといっしょ」について

【委 員】この事業に参加した家族のお母さんからの話も聞けるとよいと思う。お母さんは夫と子供がいない時間は、自由な時間となるので時間の使い方や、参加したお父さんと子どもがどう変わったとか聞けるとよい。お母さんの口コミは集客につながりやすい。

【委 員】工作も工夫されており、それぞれの家族の個性が出せておりよい。また朝ごはんの料理も目先が変わった料理でよいと感じた。リピーターのお父さんがみんなもっとこの事業に参加すればよいのにと言っていた。もっと周知を広げることが必要だと思う。学習の部分は、宿題を持ってくるに限らず、各家庭に合った学習だけでなく、お父さんが絵本の読み聞かせをするのもよいと思う。

【委 員】夏と冬の2回とも糸魚川地区公民館で行われているが、参加者の住所地域はどうか。

【事務局】糸魚川と青海地域の家族が参加しており、能生地域の参加者はいない。

【委 員】糸魚川地域以外でも実施してほしい。

【委員】参加者が極端に少なく感じる。(夏は5組10人、冬は3組7人)

【事務局】実施時期については夏休みや冬休みにとらわれずに行うことも検討する。

#### ○「いのちの安全教室」について

【委員】平日の金曜日に開催しているが、この事業は何時に行ったのか。

【事務局】午後4時から5時に行った。

【委員】その時間は、ほとんどのお母さん方は働いているので土曜や日曜に実施するよう検討したほうがよい。周知の方法も考えてたくさんの方が参加できる事業にしてほしい。

【事務局】今回は図書館イベント「おしゃべりな図書館」といっしょに開催し、保育園帰りの家族の図書館の利用促進も目標としたが、もっとたくさんの人に参加できるよう開催時間については検討する。なお、「おしゃべりな図書館」は4月以降定期的に開催する。

### ② 青少年活動事業

#### ○キッズフェスタについて

【委員】ワークショップでジュニアボランティアを活用したが、ジュニアボランティア自身から何かアイデア出しはあったか。

【事務局】事務局がアイデアを出し、それをジュニアボランティアが覚えるという内容であった。

【委員】ジュニアボランティアも自分の意見が採用されると今後の活動への意欲につながると思う。

【事務局】次回はジュニアボランティアからも意見をもらう時間を作りたい。

【委員】職業の内容についても子どもたちに教えることは、業者にとってもよいPRになると思う。

【委員】糸魚川ならではの職業で、フォッサマグナミュージアムの学芸員の仕事を学ぶのもよいと思う。デザイナーや漫画を呼びたいが呼べないと説明があったが、もっと民間を活用すれば探せる余地があるかもしれない。相談してほしい。

#### ○野外体験活動プランを活用した事業（ジオキッズ探検隊）について

【委員】糸魚川ならではの学びができるので続けていってほしいと思う。

### ③ 成人教育事業について

#### ○生涯学習講座について

【委員】毎回新しい講座を取り入れておりよい。それに加えてステップアップする回も入れてみてはと思う。

【事務局】どれも単発の講座であり、内容によっては年に何回か通して実施することも検討してみたい。

【委員】生涯学習課が実施する講座は単に楽しいだけではなく、人と人との関わりや、新しい仲間を作る、新しく誰かと繋がることの意味を伝えることによってアイデアや参加者が増えていくと思う。

【事務局】生涯学習事業によって友達が増えて、つながりが増えていくことを常に意識して行っている。

【委員】生涯学習事業でコーヒーの淹れ方講座やシフォンロールケーキ作りに参加した人が、習ったことを活用し、地区のサロンに参加してほしい。

【事務局】生涯学習講座で学んだあとの活かし方を考え、地域の活性化につなげていきたい。

#### ○新成人お祝い事業について

【委員】今回新成人へ配布したパンフレットにお祝いの言葉をよせた人は有名な人が多い。それよりも昔の学校の担任教師からメッセージをもらったほうが、新成人にとって嬉しいと思う。

【事務局】20歳の祝いと一本化するということだが、20歳の方は大半が糸魚川から離れており、20歳の方が18歳の新成人へ離れて感じる糸魚川の良さを伝える場とした方がよいと思う。

【委員】過去に18歳の新成人を祝う式と20歳の成人式を行っていた自治体は、県内では当市だけであり、全国的に見ても20歳に集約されているのが実情である。

#### ④ スポーツ、健康について

##### ○総合型地域スポーツクラブ事業

【委員】年をとると体が動かなくなってくる。最近、麻雀をする機会や、eスポーツの大会に参加する機会があったが、高齢者のことも考えながら事業を行ってほしい。

【事務局】麻雀やeスポーツは手先を動かし、介護予防にも一定程度の効果も見込める。また仲間づくりにもつながるため参考にしたい。

#### 4 報告事項

令和8年度上越地区社会教育委員連絡協議会事業計画について

#### 5 閉会 (16:40)